

選択保健体育学習指導案

日 時 平成16年10月13日(水)5校時

学 級 保健体育 コース

3年男子16名、女子 8名

2年男子 8名、女子 8名 計40名

指導者 駒ヶ嶺 能 弘

1 単元名 「球 技」 ～ソフトテニス・卓 球～

2 単元について

(1) 教材観

ソフトテニス・卓球ともに、ネットを境にして相対するプレーヤーがラケットを使い得点を競い合うスポーツである。ラリーが続くなど、技能が高まることにより一層楽しさが増すとともに、手軽に安全にゲームができるスポーツでもある。また、競技としても、レクリエーションとしても、性別や年齢を問わず幅広い関わり方ができる。こうしたことから、必修教科ではあまり触れることができない競技種目を取り上げ、運動は好きであるが保健体育に関する関心や意欲が低い生徒でも、自分で課題を設定し練習の計画を立て、主体的に学習に取り組むことにより、必修教科での学習内容をもとに発展的な学習が展開できる教材であると考ええる。

(2) 生徒観

学習集団は、ガイダンスにおいて保健体育コース を選んだ男女(2・3年)の生徒であり、全ての生徒が運動が得意というわけではないが、運動好きな生徒が大半である。

卓球クラブ所属10名(男子)、ソフトテニスクラブ所属4名(男子)、女子は全員他の運動クラブ所属である。

(3) 指導観

保健体育の授業において最も大切なことは、意欲的に学習することであると考ええる。生徒が意欲を持って学習するためには・・

ア 記録や技術が高じ要する喜び

イ 自己課題を発見する喜び

ウ 課題を自己解決できる喜び

エ 仲間と協力して活動できる喜び

オ 興味・関心のある内容に取り組むことができる喜び

・・などが考えられ、できるだけ多くの喜びを味わわせたいと考える。

その中で上記のウ・エ・オの3点を重点として、ゲームを中心に自分達でグループづくりや試合方法を考えさせ、その計画に沿った学習活動をすることで意欲的に取り組むものと期待している。また、必修教科では全体指導の形態が多くなり、集団における一人一人の在り方やマナーに注意して行動させる場面が多い。そのために、自立心や責任感が弱く、人を頼って活動する場面も見られるので、小グループでゲームを運営し、その中で責任感や自立心を育成したい。

3 学習と指導目標

【関心・意欲・態度】

- ・ 球技の特性に関心を持ち、楽しさや喜びが味わえるように、進んで取り組もうとする。

- ・ グループにおける自己の役割を自覚して責任を果たし、お互いに協力して練習やゲームに参加することができる。
- ・ 勝敗に対して公正な態度をとることができる。
- ・ 健康・安全に留意して運動しようとする。

【思考・判断】

- ・ 運動の特性に応じて課題を設定し、解決の仕方を身に付けることができる。
- ・ 自己の能力に適した課題とその解決を目指し、練習の仕方を工夫できる。

【技能・表現】

- ・ サーブ、スマッシュ、ロビングなどを使った課題練習やゲームを通して、個人・集団の技能を高めることができる。
- ・ 既習の技能を活用して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。

【知識・理解】

- ・ 運動の特性や学び方、基本動作・技能を習得できる。
- ・ 自分の能力に適した練習や競技の仕方を理解し、知識を身に付けている。

4 指導計画(前期総時間18時間、本時18 / 18時間)

時 数	内 容	評 価 規 準			
		運動や健康への関心・意欲・態度	運動や健康、安全についての思考・判断	運動の技能・表現	運動や健康、安全への知識・理解
1	オリエンテーション	各種運動の特性と学び方や安全の確保の仕方、その運動の心身にわたる効果について関心を持ち、実技に関連させながら進んで学習に取り組むことができる。			選択した種目の特性を理解している。
1	活動計画 班づくり	互いに協力して学習を進めようとしている。	運動の特性に応じて課題を設定し、解決の仕方を見つけることができる。		運動の特性や学び方、基本動作・技能を理解できる。練習の仕方を理解できる。
6	班活動 (卓球)	テニスや卓球に関心を持ち、意欲的に身体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、自ら進んで体力を高めようとして、仲間と互いに協力しながら運動を行うことができる。	自己の能力に適した課題とその解決を目指して、練習のしかたを工夫できる。 安全に留意して、ゲームや練習に参加しようとしている。	サーブやスマッシュなどを使った課題練習やゲームを通して、個人や集団の技能を高めることができる。	練習やゲームを反省し、次時への活動に生かすことができる。 運動の特性や学び方、基本動作・技能を理解できる。 自分の能力に適した練習や競技の仕方を理解し、知識を身に付けている。
	班活動 (テニス)	健康・安全に留意して運動することができる。 積極的にゲームや練習に参加し、選択した種目の楽しさを見つげようとしている。		サービスやロビングなどを使った課題練習やゲームを通して、個人や集団の技能を高めることができる。	
1	活動計画 班づくり	互いに協力して学習を進めようとしている。	運動の特性に応じて課題を設定し、解決の仕方を見つけることができる。		運動の特性や学び方、基本動作・技能を理解できる。練習の仕方を理解できる。
		卓球に関心を持ち、グループにおける自己の役割を自覚して責任	卓球の特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように、進ん	既習の技能を活用してゲームを行い、作戦を生かした攻防を展開	自分の能力に適した練習や競技の仕方を理解し、知識を見に付けて

9	ゲーム (卓球)	を果たし、お互いに励まし合うことなど、仲間を尊重し、練習やゲームに参加することができる。 勝敗に対して公正な態度をとることができる。	で取り組むことができる。 安全に留意し、練習やゲームができる。	してゲームができる。 サーブやカット、スマッシュが正確にできる。	いる。 卓球の審判の仕方を理解している。
	ゲーム (テニス)	テニスに関心を持ち、グループにおける自己の役割を自覚して責任を果たし、お互いに励まし合い助言しあうなど仲間を尊重し、練習やゲームに参加することができる。 勝敗に対して公正な態度をとることができる。	テニス特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように、進んで取り組むことができる。 安全に留意し、練習やゲームができる。	既習の技能を活用してゲームを行い、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。 サービスやロビング、スマッシュが正確にできる。	自分の能力に適した練習や競技の仕方を理解し、知識を見に付けている。 テニスの審判の仕方を理解している。

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ア お互いに助け合い、励まし合い、助言しあうなど仲間を尊重し練習・ゲームに参加することができる。(関心・意欲・態度)
- イ 作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。(技能・表現)
- ウ ルールの工夫や練習方法を工夫できる。(思考・判断)
- エ ゲームの進め方や審判の方法が分かる。(知識・理解)

(2) 本時の評価と具体的評価規準

具体的評価規準 評価の観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への手だて
お互いに助け合い励まし合い助言しあうなど、仲間を尊重しゲームに参加することができる。	意欲的にお互いを高め合い、楽しさを味わいながら学習している。	お互いに声をかけ合っ てゲームに参加している。	皆と一緒に積極的に活動するよう支援したり、一緒になって活動する。
作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	仲間やグループでの話し合いや、個での作戦を立て、ゲームができてい る。	お互いに助け合い、カ パーしながらゲームして いる。	皆と一緒に積極的に活動するよう支援したり、一緒になって活動する。
ルールの工夫や練習方法を工夫できる。	仲間やグループでの練習が工夫されている。	仲間やグループでの練習ができてい る。	皆と一緒に積極的に活動するよう支援したり、一緒になって活動する。
ゲームの進め方や審判の方法が分かる。	公平な審判で、ゲームがスムーズに進んでい る。	ゲームがスムーズに進 んでいる。	仲間やグループからの支援をしてもらいながら活動させる。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	教師の支援・教材・教具等	評価項目
導 入 (5)	1 準備運動 2 あいさつ 3 学習内容の確認	・ 卓球台の設置(各班) ・ 本時の目標を確認する。	ア
仲間やグループで援助し合い，楽しく積極的にゲームをしよう。			
展 開 (40)	4 ゲーム 各班(グループ)でのリーグ戦 卓球 体育館 ソフトテニス 外コート ・ 基本的な技能を身に付け， ゲームに生かす。 ・ ペアで協力し，より多くポ イントをとる。 ・ いろいろな相手とゲームを 楽しむ。	・ 巡視し，ゲームの進め方や練習 の工夫などをアドバイスする。 ・ 教材・教具の管理をきちんとさ せる。	ア イ ウ エ
終 末 (5)	5 個人カードに記入 6 あいさつ 7 後始末	・ 次の選択授業に役立たせるよう に記入させる。 ・ 用具の後始末がきちんとできた か。	ア